



令和 5 年 10 月 4 日

【10/10~10/22】宮崎大学附属図書館にて宮崎基地特攻資料展を開催します

令和 5 年 10 月 10 日(火)より、本学附属図書館において、宮崎特攻基地慰霊祭実行委員会様などの協力を得て、下記のとおり宮崎基地特攻資料展を実施することとしましたのでお知らせします。本学で実施するのは今年で 4 回目となります。

本資料展では、宮崎を最後の地として飛び立った大学生と同世代の若者が 130 人以上いたことや、本学附属学校の児童・生徒 12 名が集団下校中に爆撃を受けて亡くなったことなど、学術的に裏付けのある資料を基に、宮崎における戦争の悲惨な歴史を事実として伝えます。

また、宮崎県内で撃墜されたことが原因で命を落とした 38 名のアメリカ兵の遺影も展示するほか、戦時中に、戦闘による損傷か機械的トラブルなどで米良地域の山中に脱落したとみられる米軍爆撃機 B-29 のプロペラ(長さ約 2.5m、幅約 35cm)や延岡大空襲の際にアメリカ軍から投下された焼夷弾の部品を初公開する予定で、日米双方からの視点による展示を行います。

現在の日本は平和による繁栄という恩恵を受けていますが、78年前は宮崎をはじめ、日本各地で多数の人たちが戦争の犠牲となりました。また、今もなお、世界各地では紛争が相次ぎ、多数の犠牲者が出ています。本学としましては、一人でも多くの学生や地域の皆様方に、私たちが住む宮崎で起こった悲劇を知っていただき、一人一人が考えるきっかけにして欲しいとの想いで取り組んでまいります。

記

○期 間：令和 5 年 10 月 10 日(火)~令和 5 年 10 月 22 日(日)

○時 間：平日 午前 9 時~午後 9 時、土日 午前 9 時~午後 5 時、祝日休館

○会 場：宮崎大学附属図書館1階(木花キャンパス)

○その他：

1. 詳細は別添のとおりとなります。
2. 10月10日(火)10時30分より11時30分まで、メディア関係者向けに本資料展を監修している郷土戦史研究家の稲田哲也氏(南九州文化会)による資料展の全体概要説明および展示物等の説明を行います。(会場:附属図書館1階 宮崎特攻基地資料展 展示スペース内)
3. 10月19日(木)9時00分より10時00分まで、稲田哲也氏と元特攻隊員である庭月野英樹氏が学生向けに講演を行います。(会場:宮崎大学農学部棟L204教室)

※ 講師の体調等で予定が変更となる可能性がありますのでご容赦ください。

発信元・問合せ先(後田)

宮崎大学企画総務部広報・渉外課

TEL:0985-58-7114

メール:kouhou@of.miyazaki-u.ac.jp

宮崎基地特攻資料展

後世に語り継がなければならない、

78年前の宮崎の歴史

入場無料

展示資料;

- ・宮崎に残る戦争遺構
- ・特攻隊員の残された声
- ・宮崎基地の全貌
- ・アメリカ軍が実際に使用していた装備品
- ・B29爆撃機プロペラ実物(初公開)
- ・延岡大空襲で投下された焼夷弾の部品(初公開)

日程:令和5年

10月10日(火)～10月22日(日)

開館時間:

平日 09:00 - 21:00

土日 09:00 - 17:00

会場は学生が自習スペースとして活用しています。また、会場で学生向けの講義が実施されている場合があります。

会場:宮崎大学附属図書館1階

(木花キャンパス内)



アクセス:

宮崎交通バス「宮崎大学」下車徒歩3分

企画問合せ:

宮崎大学研究・産学地域連携推進機構

0985-58-7951 (平日9時～16時)

百三十人を超える若者が、宮崎を最期の地として飛び立ったこと。三十八人の若きアメリカ兵が宮崎の地で命を落としたこと。あなたは知っていますか？ 知って下さい、宮崎の歴史。



主共後

催: 宮崎特攻基地慰霊祭実行委員会

催: 国立大学法人宮崎大学

援: 南九州文化研究会

映像協力: MRT宮崎放送

会長あいさつ

今の日本の平和と繁栄は当たり前のもなののでしょうか？

戦後78年を迎えた今日、私たち日本人はあの時の記憶をどのように次の世代へ伝えていくのでしょうか？

戦争により祖国に命を捧げられた尊い犠牲者の中には、「特攻」という作戦の名の下、赤江海軍飛行場から出撃し、その短く儚い命を南海に散らした若者が多く含まれていました。

私たちは、次の世代に「戦争を語り継ぐ」活動や、今回のような資料展を開催することで「特攻隊員の遺品」などを直接、皆様にご覧いただき、あの時の戦争の悲惨さや当時を生きた人の想いを後世に伝えていくことが使命であると考えています。

是非とも、この資料展にお立ち寄りいただき、戦争のない今を生きている幸せと感謝の気持ちを改めて感じていただければと思います。

この資料展が戦争のない平和な時代をこれからも守り築いていくための一助となれば、平和な世の中を願い、祖国のために命を捧げられた皆様方への追悼にもなると思っています。



宮崎特攻基地慰霊祭
実行委員会 会長
後藤徹夫

企画 監修 資料調査・製作者あいさつ

戦後78年が過ぎ、確実に戦争の記憶は失われようとしています。我が郷土宮崎で戦時中何が起こっていたのかを知っていただくことで、戦争の無い平和な世の中を作る為の一助になればと思います。

沢山の方々のご来場を、心よりお待ち申し上げます。



南九州文化研究会 稲田哲也

資料の紹介

今回は、宮崎の地を今生の最後の地として飛び立った「神風特別攻撃隊員」達の遺影や遺書、宮崎を空襲したアメリカ側の実物資料などを中心に展示します。

また、宮崎で命を落としたアメリカ兵に関する展示やB29爆撃機プロペラの実物展示も行うことで、日米双方からの視点による展示を行います。

その他MRT宮崎放送提供の貴重な映像資料の放映も行います。



オレンジ色の枠内は指定駐車場のため駐車禁止です。

宮崎大学附属図書館 電話：0985-58-7147

【ご来場に当たってのお願い】

- 図書館入り口でのアルコール消毒、館内での咳エチケットにご協力下さい。
- 一般の方は入館時に簡単な手続きが必要となります。
- 会場は学生が自習スペースとして活用しています。また、会場で学生向けの講義が実施されている場合がありますので、ご配慮願います。
- 平日は駐車場が足りないため、離れた場所に駐車することになりますが、ご容赦ください。
- オレンジ色の枠内は指定駐車場となります。必ず白線枠内の駐車スペースをご利用下さい。